

2015年11月27日
株式会社DeNAトラベル

DeNAトラベル会員1,590名に聞いた、日本の温泉に関する調査

「今年の年末に最も行きたい温泉地」

東日本は草津温泉、西日本は湯布院温泉が1位

～30代以下と40代以上では温泉選びのポイント、予算に大きな差異が～

オンライン総合旅行サービス「DeNAトラベル」(<http://www.skygate.co.jp>)を運営する株式会社DeNAトラベル(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：中野 正治、以下DeNAトラベル)は、「DeNAトラベル」のメールマガジン会員1,590名を対象に、「国内温泉地」に関する調査を実施しました。



＜調査背景＞

今年も残すところ約1か月。寒さも強まり、温泉が恋しい季節となりました。温泉といえば、観光庁が発表した「訪日外国人の消費動向 平成 27年 7-9 月期報告書」によると、訪日外国人が訪日前に期待していたこととして「温泉入浴」が28.8%と約3割にのぼっており、訪日外国人からの期待も大きいことが伺えます。そこで今回、DeNAトラベルは旅好きの多いDeNAトラベル会員に対して、日本の温泉について調査を実施しました。

参考：訪日外国人消費動向調査一国土交通省観光庁
<http://www.mlit.go.jp/common/001107026.pdf>

【調査概要】

＜調査1：東日本で今年の年末に最も行きたい温泉地はどこですか？＞

→30代以下・40代以上ともに草津温泉が1位。
しかしながら選んだ理由の1位については、40代以上は「泉質がいい」に対し、30代以下は「行ったことがないから」が大半を占め、理由に差が表れた。

＜調査2：西日本で今年の年末に最も行きたい温泉地はどこですか？＞

→30代以下・40代以上ともに湯布院温泉が1位。
30代以下では「食事がおいしい」という理由で「城崎温泉」が、40代以上では「砂風呂を体験したい」という理由で「指宿温泉」が上位となった。

＜調査3：温泉旅行に行く際の予算はどのくらいですか？（交通費・宿代・食事代）＞

→30代以下は「1万円以上3万円未満」が最も多いのに対し、40代以上は「3万円以上5万円未満」が最も多かった。

＜調査4：温泉地を選ぶ際に最も重要視するものは何ですか？＞

→30代以下・40代以上共に「宿」が1位。
30代以下は「食事」「値段」と温泉以外の要素が続く一方で、40代以上は2位に「泉質」が入った。

Press Release

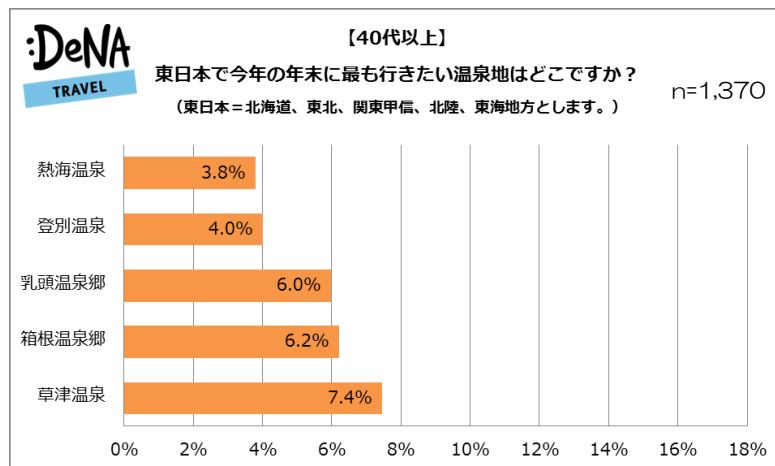
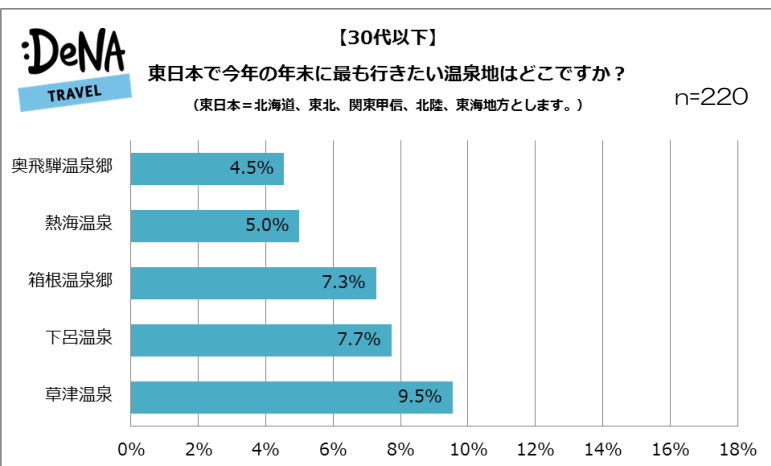
報道関係各位

2015年11月27日
株式会社DeNAトラベル

【調査1：東日本で今年の年末に最も行きたい温泉地はどこですか？】

※東日本＝北海道、東北、関東甲信、北陸、東海地方とします。

「東日本で今年の年末に最も行きたい温泉地はどこですか？」という問いに対し、30代以下、40代以上共に「草津温泉（群馬県）」が1位（30代以下：9.5%、40代以上：7.4%）となりました。
2位以降については30代以下は2位「下呂温泉（岐阜県）」、3位「箱根温泉郷（神奈川県）」、4位「熱海温泉（静岡県）」、5位「奥飛騨温泉（岐阜県）」と比較的都内近郊の温泉がランクインする一方で、40代以上は2位「箱根温泉郷（神奈川県）」、3位「乳頭温泉（秋田県）」、4位「登別温泉（北海道）」、5位「熱海温泉（静岡県）」と都内から離れた温泉地がランクインしました。

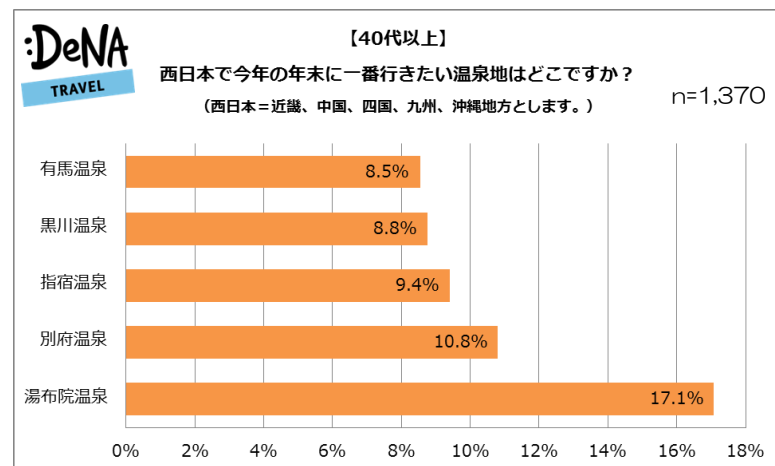
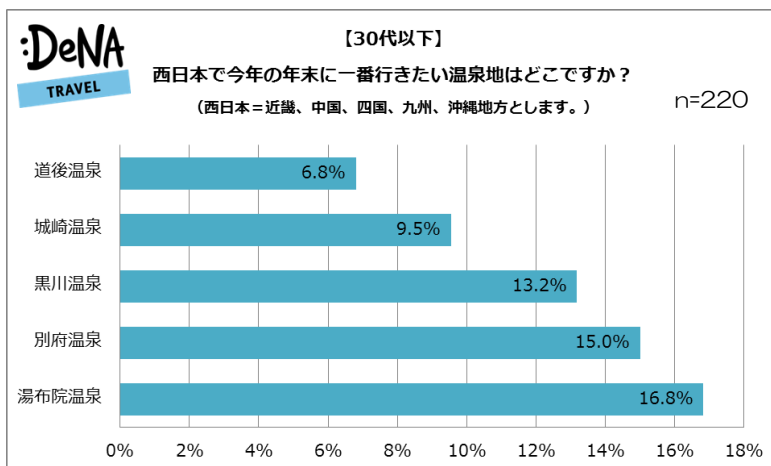


また、1位の「草津温泉」を選んだ理由としては、30代以下では「近くて行きやすい。」「有名なので一度行ってみたい。」といった意見が大半を占める一方で、40代以上では「酸性のお湯がいい。」等の泉質に関するコメントが多く見受けられました。

【調査2：西日本で今年の年末に最も行きたい温泉地はどこですか？】

※西日本＝近畿、中国、四国、九州、沖縄地方とします。

「西日本で今年の年末に最も行きたい温泉地はどこですか？」という問いに対し、30代以下、40代以上共に「湯布院温泉（大分県）」が1位（30代以下：16.8%、40代以上：17.1%）、「別府温泉（大分県）」が2位（30代以下：15.0%、40代以上：10.8%）となりました。
3位以降については30代以下は3位「黒川温泉（熊本県）」、4位「城崎温泉（兵庫県）」、5位「道後温泉（愛媛県）」、40代以上は3位「指宿温泉（鹿児島県）」、4位「黒川温泉（熊本県）」、5位「有馬温泉（兵庫県）」がランクインしました。



また、30代以下に人気の高い「城崎温泉」（30代以下4位）が選ばれた理由としては、「カニと温泉を楽しみたい」「ご飯がおいしかった」といった、「食」に関するコメントが多く見受けられました。
一方、40代以上に人気が高い「指宿温泉」（40代以上3位）については「砂風呂を体験してみたい」という意見が大多数を占めました。

Press Release 報道関係各位

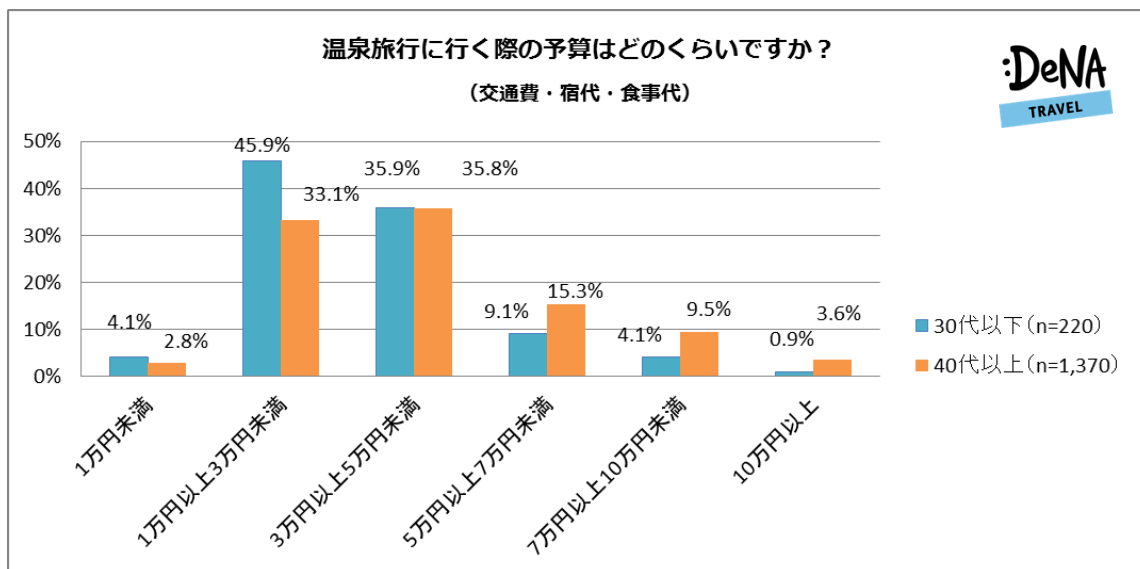
2015年11月27日
株式会社DeNAトラベル

【調査3：温泉旅行に行く際の予算はどのくらいですか？（交通費・宿代・食事代）】

「温泉旅行に行く際の予算はどのくらいですか？（交通費・宿代・食事代）」という問いに対し、30代以下の45.9%が「1万円以上3万円未満」と回答したのに対し、40代以上では「3万円以上5万円未満」が1位（35.8%）となりました。国税庁調べの「平成 26 年分民間給与実態統計調査」（※1）によると、30代以下の平均給与は約308万円、40代以上は約414万円（※2）であることから、予算の差は所得の差に起因しているように思います。

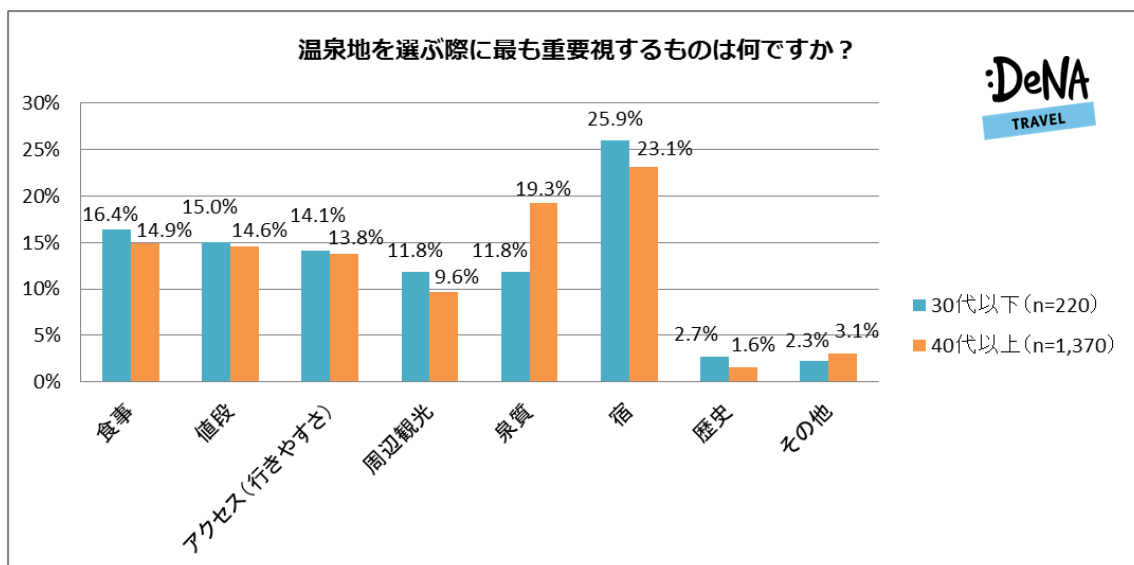
※1…<https://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/minkan2014/pdf/001.pdf>

※2…民間給与実態統計調査による年齢別の統計より、30代以下・40代以上の平均を算出



【調査4：温泉地を選ぶ際に最も重要視するものは何ですか？】

「温泉地を選ぶ際に最も重要視するものは何ですか？」という問いについて、1位は30代以下・40代以上共に「宿」（30代以下：25.9%、40代以上：23.1%）となりました。しかしながら、30代以下は2位「食事（16.4%）」、3位「値段（15.0%）」と温泉以外の要素が続くのに対し、40代以上では「泉質（19.3%）」が2位にランクイン。年齢を重ねるにつれて、温泉を選ぶポイントに変化が見られることがわかりました。



【調査概要】

調査タイトル：「国内温泉」に関するアンケート調査
調査対象：「DeNAトラベル」のメール会員で、計1,590名
調査期間：2015年10月30日（金）～11月4日（水）
調査方法：インターネット調査
調査主体：株式会社DeNAトラベル

Press Release
報道関係各位

2015年11月27日
株式会社DeNAトラベル

「DeNAトラベル」スマートフォン向けWebサイトで国内高速バス予約を取扱開始



【国内高速バス検索・予約ページ】<http://sp.skygate.co.jp/kokunai/bus/>

「DeNAトラベル」が2015年9月14日からスマートフォン向けWebサイトで提供開始した国内の高速バス予約では、現時点で約2,000プランを取扱っています。ユーザは旅の目的地に合わせた路線だけでなく、女性専用シートやモニター付きシートといったシートを選ぶことができるほか、Wi-Fiやコンセント付きなどの車内設備を備えたバスを検索することができ、よりニーズに適した便を予約することが可能です。

また、スマートフォン向けWebサイトはユーザがストレスなく直観的に操作ができるよう設計されており、最短5分で予約が完了するほか、24時間365日、出発の3時間前までチケットを予約することができます。

※その他詳細は特設ページにてご確認ください。

～本件に関するお問い合わせ～

株式会社DeNAトラベル PR担当：稲葉

TEL：03-6866-5975 FAX：03-6866-5970 E-MAIL：inaba.hiromi@dena-travel.com